

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

ひまわり



第24号 令和元年12月
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

令和元年度 第3回さつまるネット研修会 (9/27) 講演:「高齢者の栄養管理」 ～サルコペニア・フレイルを視野に入れた～



第3回さつまるネット研修会は、宮之城地区栄養士会、川内地区栄養士会にご協力頂き、昨年好評でした社会保険田川病院管理栄養士の青木哲美先生にご講演頂きました。また宮之城地区栄養士会会長の川畑さまより宮之城地区栄養士会の取り組みについてのご紹介もありました。アンケート結果では「フレイルやサルコペニア、栄養の関係についてよくわかりました」「年齢に伴う栄養状態の確認の基準等をとても詳細に説明して頂き、今後の支援に対して参考になると感じます」等のご意見を頂きました。管理栄養士34名を含む60名の方にご参加頂きました。

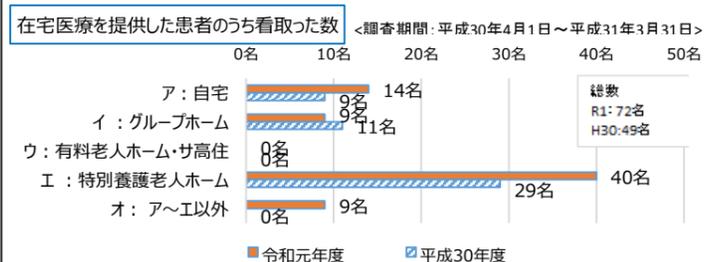
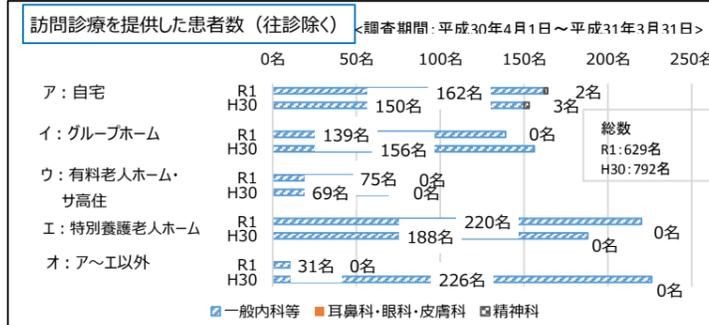
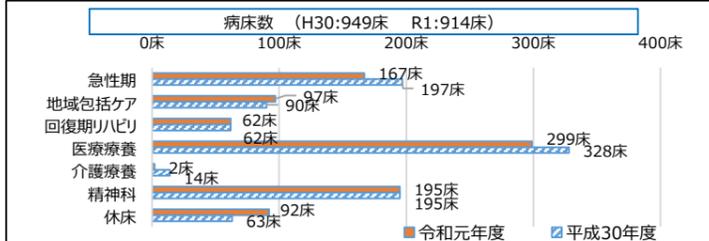
令和元年度 第4回 在宅医療推進作業部会 令和元年度 在宅医療多職種意見交換会 (11/15)



令和元年11月15日宮の杜に於いて在宅医療多職種意見交換会が開催されました。堀之内会長の挨拶と乾杯の後食事をとりながら、北薩地域振興局より「川薩地域入退院調整ルール」アンケート結果について、事業運営委員長より「あんしん医療連携シート」の活用について、さつま町高齢者支援課より「緊急連絡票」の取り組みについて、センターより「あんしん医療連携シート」記載依頼の文書発送について情報提供を聞いて頂きました。意見交換の中で、さつま町消防本部救急係長より「在宅医療連携シートがやっとなら救急隊員にも浸透してきたと思います。緊急連絡票については、対象者リストを頂けると有効活用ができると思います」とのご意見を頂きました。また、訪問看護師より「『延命は希望しますか』というところがあるが、何処までが延命なのか一般の方にはわかりづらいのではないかと思います。訪問看護としてはこのシートは確認しやすいので良いツールだと思います」とのご意見を頂きました。また、会長より「会員の先生方には会合等で周知していきたい」とご発言頂きました。医師7名を含む35名の方にご参加者頂きました。有難うございました。

令和元年度在宅医療提供状況調査結果(一部抜粋)

医療機関数: 39件 (H30:37件) 回答率: 97.4%
回答件数: 38件 (H30:35件) (H30:94.5%)
基準日: 令和元年8月1日現在



訪問診療件数は前年度と比較し減少しています。看取った患者数は、自宅、特別養護老人ホームで増加しています。薩摩郡医師会ホームページ<https://www.satsuma-ah.or.jp/>に、医療機関、歯科医院、薬局、訪問看護事業所、訪問リハビリ事業所毎に掲載していますのでご参照ください。

令和元年度薩摩川内市アドバイザー研修会 (9/26、9/27、10/4、10/9、10/10、10/18)



薩摩川内市(樋脇・入来・東郷・祁答院・甕島地区)の令和元年度アドバイザー研修会に於いて当センターからは、1. 在宅医療とは?、2. 人生会議(ACP)について、3. 在宅医療相談支援センターの役割についてお話を頂きました。また、薩摩川内市歯科医師会在宅歯科医療推進室の榎本さんからは推進室の業務内容や訪問歯科医療についてご説明がありました。合計6ヶ所で187名の方が参加されました。

令和元年度第4回さつまるネット研修会 第2回「多職種連携による口腔ケア体制整備」研修会



クオラリハビリテーション病院リハ部長の鈴木伸洋氏と看護師長の原田佳代氏による「ケアシッププロジェクト～姿勢を考慮した口腔ケア～」の講義と口腔ケアプランシートの紹介の後、口腔ケア技術紹介として①ポジショニング②経口機能維持推進ケアについて患者モデルをお願いして具体的に説明をされました。また、口腔ケア商品についてもご紹介がありました。本日の研修を受けて、今後の課題と考えたことアンケート項目では、①アクティブタッチやマッサージなど、相手に触れる優しいケアの提供②アセスメントに基づき、具体的な支援を行なうこと(ケアプランシートの活用)等の回答がありました。口腔ケアを行う際の大切なことを多く学んだ一日でした。参加者は121名でした。

あんしん医療連携シート(令和元年11月活用開始)



在宅医療連携シートは「あんしん医療連携シート」と改名し、外来通院中の方にも活用して頂けるようになりました。薩摩郡医師会ホームページ<https://www.satsuma-mah.or.jp/>からダウンロード可能です。65歳以上の独居世帯や高齢者二世帯、または急変の可能性のある方を対象にかかりつけ医の判断でご記入のご協力をお願い致します。No2の取り扱い方法をご参照ください。